

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 316

所管部局	福祉部	所管課	健康課	担当者名	疋田 ミツル			
事業名	予防接種事業			事業分類	ソフト事業			
細事業名	予防接種事業			政策体系	141			
会計	一般会計	科目	4. 衛生 - 1. 保健 - 2. 予防					

## 1. 事業の概要

予防接種法による定期の予防接種を実施した。  
 （三種混合・二種混合・麻しん風しん混合・ポリオ・BCG・日本脳炎・高齢者インフルエンザ）  
 平成21年度より新型インフルエンザワクチン接種者の低所得者に対する費用免除事業を行った。

## 2. 事業の目的と必要性

### ① 施策で目指す目標との関連付け

予防接種を受けやすい体制を確立し、感染症を予防し、健康を保持し、安心して暮らせるまちづくりをする。-医・食・住の充実と高齢者や障がいのある人の自立を支援する。

### ② 事業を実施する必要性

予防接種法に基づき、感染症の蔓延を防ぐため。

## 3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	30,029	31,924	38,294	36,022	49,722	52,765	47,475
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	144	271	239	231	230	250	250
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	332	300	300
	国・府支出金	千円	0	0	0	721	700	700
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	30,029	31,924	38,294	34,969	48,722	51,765
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.57	1.20			
人件費	千円	—	—	3,587	7,469			
事業費総額	千円	—	—	41,642	43,259			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

個別各予防接種医療機関委託料30,367,973円（委託料）  
 集団予防接種実施費用 5,653,663円（賃金報酬費、需用費等）

## 5. 事業結果の概要

BCG-乳児前期健診と同時に集団で実施（99%）  
 3種混合一個別で実施  
 MR1期一個別で実施  
 MR2期— //  
 MR3期—南丹市立中学校生は学校にて集団で実施  
 その未接種者及び南丹市立以外の中学校生は個別実施  
 MR4期一個別にて接種  
 ポリオー春秋に各保健センターで集団で実施  
 日本脳炎—H17.5～国の方針で接種勧奨は控えている  
 新型インフルエンザワクチン接種費用免除者236人

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
<b>(1) 予防接種事業</b>		
3種混合、2種混合、麻しん風しん(MR)、日本脳炎、BCG、ポリオの実施 乳幼児・児童・生徒の感染症を予防し、健康を守るため、予防接種の接種機会の安定的に確保する。	集団接種ーBCG(毎月)、ポリオ(4会場 10回/年)、2種混合(4会場 6回/年)、MR3期(市立中学4か所で各1回)個別接種(協力医療機関及び京都府広域予防接種医療機関で実施)ー3種混合、MR1, 2, 4期、日本脳炎(接種もれ者に対し、2種混合、MR3期、BCG、)	接種率-3種混合(延)857人 2種混合259人ポリオ434人 日本脳炎117人MR I期185人II期237人3期341人IV期362人(85~97%) 高齢者インフルエンザ
<b>新型インフルエンザワクチン費用免除</b>		
市民税非課税世帯の妊婦、基礎疾患を有する者、1歳から高校生、65歳以上の優先接種者及び、一般成人にワクチンの費用免除をおこなった。	10月~3月	妊婦1人、基礎疾患を有する者158人、1歳~高校生52人、65歳以上23人、一般成人7人

## 7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

医師会の協力により、新型インフルエンザワクチン接種の集団接種を行い、市民の要望に応えるとともに、不安解消に努めることができた。また、低所得者の費用免除も行った。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
予防接種未受診者対策について協議し、学校、船井医師会との連携を密に行った。
- ②当該事業のアピール事項  
当市のMR予防接種接種率は京都府内でも上位を占めている。集団予防接種実施会場が市内四ヶ所の保健センター実施により、市民の接種機会が増加した。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
幸い、予防接種副反応等による事故発生はないが、引き続き慎重な業務遂行を行いたい。